

ウガンダからの視察研修報告

日程：平成 28 年 11 月 10 日（木）～11 日（金）

訪問者：ウガンダ野生生物教育センター

ナルシバ・アンジェラ（霊長類担当）

オルポット・ロバート（動物病院飼育担当）

ルヒニワ・フランシス・ウィリアム（教育担当）

同行者：（公財）横浜市緑の協会 動物園調整課 調整係長 長倉かすみ

〃 よこはま動物園 飼育展示第二係 係長 川口英治

視察内容：こども動物園での動物管理方法，教育活動内容

霊長類の行動研究手法

傷病鳥獣施設の見学

対応：生き物・学び・研究センター センター長 田中正之

〃 課長補佐 和田晴太郎

種の保存展示課 畜水産技術者 岡部光太

参考：



・チンパンジーのお勉強見学



・ゾウの行動観察実習



本園ではタブレット PC を使った行動観察を行っていますが、今回はノートに記録し、それを解析する方法を学びたいとのリクエストでした。

ウガンダではチンパンジーを対象とした行動観察を行うのですが、個体識別や行動が観察しやすいゾウを対象に実践をしました。

・おとぎの国での「なかよし教室」の視察

本園のおとぎの国で行っている「なかよし教室」の2つのプログラム（ウサギ・テンジクネズミのふれあい、ヤギへのえさやり）を視察してもらいました。

参考 http://www5.city.kyoto.jp/zoo/institution/otogi/nakayoshi_otogi





・小学生への講演活動見学

例年、御所南小学校で実施している「おはようウンチくん」の学習プログラムを見学していただきました。

講演と観察による構成になっているのですが、タイトルの英訳「Good morning Poo (グッド モーニング プー)」に子供たち同様、興味を持っていただけたようです。



おはようウンチくん
 ～京都市立御所南小学校～

平成28年11月11日(金) ① 9:30～10:15
 ② 10:30～11:15

生き物・学び・研究センター
 課長補佐(獣医師, 学芸員) 和田晴太郎

kyoto city zoo 京都市動物園



・その他にも、野生鳥獣救護センターや、園内をご案内しました。見学には、その時受け入れていた京都市のチャレンジ体験学習に来ていた中学生も同行させていただきました。また、ひかり・みず・みどりの熱帯動物館では、研修旅行に来ていた中学生からおそらく課題だと思いますが、英語で「どこから来ましたか？」や「PPAPを知っていますか？」と質問される事態に。このような課題をしている中学生にあったのは初めてでした。ウガンダの皆さんには戸惑いながらも、ご協力いただき、ありがとうございました。



視察1日目はとても寒く、定位置でじっとして行動を観察するにはとても厳しい条件でした。しかし、2日目は寒さも和らぎ、本園で行っている教育活動や飼育管理などを見ていただきました。



※教育教材として活用している皮革パネルの触察や体験学習として企画している初摺りも体験していただきました。

ウガンダ野生生物教育センターのスタッフは、これまでも受け入れ先である横浜の3動物園や国内の動物園、水族館、博物館等での視察を行っているそうですが、京都での視察研修が、ウガンダでの活動の参考になれば幸いです。

京都市動物園でもこうした受け入れを通して、いろいろな情報交換が出来ればと思います。

2日間お疲れ様でした。



京都市動物園 生き物・学び・研究センター 和田